

Take ∇ Walk  
- the Lakes -



物静かな早朝の湖畔  
波の音だけがやさしく響き渡る



湖のすぐ側にある市街地

昔ながらのカフェや雑貨屋、本屋などが立ち並ぶ





実に休みたくなるイングリッシュガーデン

しかし私有地につき立ち入れず 残念





道の先には何があるのか  
知りたければただ歩み続けるしかない



100年以上も現役で居続けることへの敬意

それはもはや人々に  
単なる移動手段を超えた愛着を  
抱かせるまでになった









「極上のひととき」とは何か  
例えばそれは  
昼下がり、清涼とした川辺の喫茶店で  
一服するとき…なのかもしれない

## Cycling!

---



コルン川側で出くわしたサイクリング集団  
湖水地方特有の涼やかな風が実に気持ちよさそう



威風堂々とした佇まいは、さながら川の主の風格

でも本当は誰よりも努力家なんです



英国一美しいと言われるバイブリー

そのバイブリーを訪れる観光客に大人気なのが  
このスワン・ホテルであり、英国有数の高給ホテルでもある



そよ風の心地良さ  
小鳥の囀り  
眩しい木漏れ日…

朧気な記憶のなか  
たしかにあった

懐かしき日々の風景





ジブリ映画「魔女の宅急便」に出てきそうな古民家



バイブリーにある伝統的英国家屋

特徴的なハニーカラーの外壁はライムストーン、  
コッツウォルズストーンとも呼ばれている



このバイブリーの民家は多くの観光客が訪れる定番のスポットであり  
国の重要文化財でもあるが実際に人が住み生活する”現役の住宅”でもある



バイブリーから少し離れた町、ポートン・オン・ザ・ウォーター  
町のいたる所に川が流れていることから「リトル・ベニス」と呼ばれる









中世の空気を色濃く残す風景

変わらないことを選択した町の美しさがある



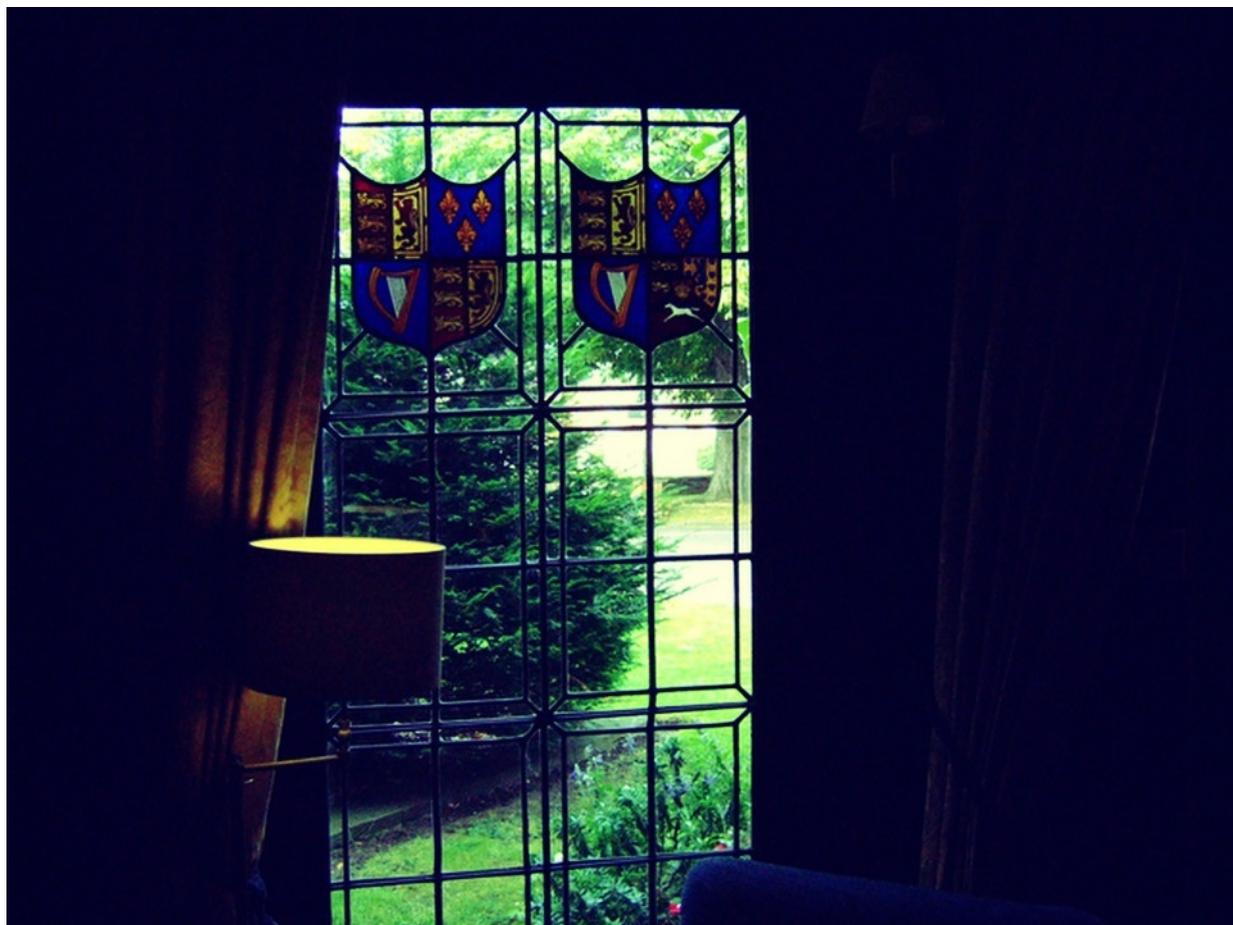
ショッキングピンクなミニ

ミニといえばユニオンジャックが定番だが  
これはこれで可愛い



マナーハウスは中世荘園の領主の邸宅がその源流と言われる

現在では専らホテルとして利用されることが多く  
その重厚な格調から宿泊先として人気が高い



ストラトフォード・アポン・エイヴォン

---





ストラトフォード・アポン・エイヴオンは  
かのシェイクスピアの生まれ故郷である

この素朴で美しい町は、彼の数々の戯曲に  
少なからず影響を与えたのだろう



ピエロ像の台座には喜劇「お気に召すまま」から引用した言葉が刻まれている  
"The fool doth think he is wise, but the wise man knows himself to be a fool."  
(愚者は自分を賢者と思っているが、賢者は自分が愚者であると知っている)

なんとも耳の痛い言葉だ

## あとがき

---

ご覧いただきありがとうございます。OKiと申します。  
ロンドン、バースに続くイギリス旅行記の第3弾として  
この湖水地方での滞在写真をまとめました。

常に新しいものを取り入れ、進化を続けるロンドンのような  
大都会とは全く逆の性質を持つのが湖水地方を始めとする田園地帯です。  
そこには、便利なコンビニも、ハイセンスなクラブも、高級ブランド店もなく  
人によってはこの上なく退屈な場所です。

しかし、代わりに”変わらない”という良さがあります。  
今後50年、100年経っても、このままの風景であり続けるだろう、という  
安心感、優しさが多くの人々を魅了するのでしょうか。

最後までお付き合い頂きありがとうございました。

またお会いしましょう。

OKi

FaceBook : <http://www.facebook.com/profile.php?ref=profile&id=100000516127876>